

第2510地区 第11グループ



2010~2011

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

2010~11年度  
国際ロータリーのテーマ

**地域を育み、  
大陸をつなぐ**



**BUILDING COMMUNITIES  
BRIDGING CONTINENTS**

2010~11年度  
国際ロータリー会長

レイ・クリンギンスミス

*Ray Klinginsmith*

阿部誠太 会長 テーマ —— ロータリー精神の初源に帰ろう ——



8月18日 会員卓話 深瀬 晃一 会員増強委員長

《第2256回例会》 第7号 8月25日(水)

## 本日のプログラム

「ガバナー公式訪問」 於 函館国際ホテル  
クラブアッセンブリー 午後5時~6時  
夜間例会 午後6時30分~

★会長 阿部誠太 ★幹事 増山 正

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F TEL23-3870

内科・神経科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科

医療法人  
鴻仁会**深瀬病院**

診療時間

(月曜日～金曜日) AM 9:00～PM 7:00

(土曜日) AM 9:00～PM 3:00

(日曜日・祝日) AM 9:00～PM 0:30

TEL: (0138) 41-1221 (代) FAX: (0138) 40-1245

Eメールアドレス: fukase@msl.ncv.ne.jp

函館市松川町30番12号

- 急患受付随時・往診対応可
- 通所リハビリテーション事業所併設(デイケアふかせ)

(広告掲載: 深瀬 晃一 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

【8月24日現在のアクセス数: 10319件(+27件)】

## ◎ 7月28日出席報告 (小河 博保 副委員長)

会 員	25名	出席率対象会員	25名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	25名	当日欠席	0名
他クラブ出席	0名	出席合計	25名
出席率	100%		

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・9月4日  
プログラム移動例会  
「千代台運動公園野球場(オーシャン球場)」

午前10時

2010～2011 <第 2255 回例会> 第 6 号

8 月 18 日の記録

◎司 会 阿部 誠太 会長      ◎斉 唱 それでこそロータリー、四つのテスト

◎ビジター 函館 R.C. 中山 浩一君  
函館東 R.C. 矢島 千穂君

◎会長報告 阿部 誠太 会長

- 8 月 6 日(金)10、11グループの第 1 回会長幹事会が開催されました。
- 8 月 8 日(日)地区会員増強セミナーが札幌で開催されました。

◎委員会報告

○社会奉仕委員会 柴崎 晃 委員長

9 月 4 日(土)のソフトボール大会に児童養護施設「国の子寮」の子供達を招待する件は、当クラブ  
9 月 1 日(水)の例会を移動例会として行うこととなりました。午前 10 時までに集合願います。

◎幹事報告 増山 正 幹事

- 当クラブ 9 月 1 日(水)の例会は 4 日(土)午前 10 時、会場をオーシャン球場に変更致します。また、8 日(水)の例会は早朝例会として洞爺丸慰霊碑清掃終了後開催いたします。
- 次週 25 日(水)は、国際ロータリー第 2510 地区佐々木正丞ガバナーの公式訪問です。午後 5 時よりクラブアッセンブリー、午後 6 時 30 分より例会です。また、クラブアッセンブリー終了後写真撮影を行います。多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。
- 米山梅吉記念館より館報、和歌山城南 R C より会報が届きましたので回覧致します。
- 20 日(金)函館五稜郭 R C 移動例会、24 日(火)函館セントラル R C 夜間例会、30 日(月)函館亀田 R C 夜間例会に変更です。
- 例会終了後、理事会を開催致します。

◎親睦活動委員会 小河 博保 委員長

ニコニコ BOX 投入報告

阿部会長……暑い日が続いておりますので健康に気をつけて下さい。

中野会員……葬儀の為、早退させて頂きます。

森 会員・石橋会員・小笠原会員……BOX に協力。

◎卓話 「会員増強月間にちなんで」 深瀬 晃一 会員増強委員長

- \* 会というのは長くなると活性化が失われていくもので、節目節目である程度方向性を変えていくのも良いのではないかと言う事で、あくまでも私見ですが述べさせて頂きます。
- \* 私が初めてロータリークラブを意識したのは 5、6 歳の時で、その頃父親がロータリーに入りたかったがなかなか入れなかった。  
そんな時近くの市川歯科・新さんの叔父様のおかげで入る事ができたが、当時のロータリーというブランドが素晴らしかったという事だと思います。
- \* 会員勧誘について色々方法が書かれているものもあるが、力関係を利用した方法はいかがなものか、本質は、魅力あるクラブ作り・入りたくなるようなクラブ作りにあるのではないのでしょうか。

その要点をいくつか挙げると：

\* お金の流れについて：

例えば、北欧諸国では税金が非常に高いが不満は出ない、何故かというところに見合う高福祉が得られるからであり、使い道の透明性が無ければならない。

会費の使い方にも地域の独自性があっても良いと思う。

又、事業費と運営費の按分についても見直しても良いのではないかな。

新しく入ってくる人にしっかり説明できる透明性が必要。

\* 女性会員について：

当クラブは現在女人禁制のようになっていると見受けられるが、再考しても良い時期ではないか。当会の関連4施設の施設長は全て女性です。たまたま女性が多い職場と言う事もあるが、女性のほうが長けているところがあるのも事実だと思います。

既に全ロータリアンの15%が女性だと言われてますし、4つのテストの「2. みんなに公平か」に照らしても、果たして公平と言えるのか、疑問もあります。

\* 奉仕活動について：

今までやっている奉仕活動も一度見直してみる必要があるのでは。

私たちが、相手が望んでいるであろうと考えているものと、実際に相手が望んでいるものと違う場合がある。

例：施設に車椅子を提供する事が良くあるが、実はその施設には車椅子の在庫が一杯というケースがあった、それでも相手は要らないとは言わない。

従来の方式にこだわらずニーズにあった奉仕活動というものを改めて考える必要があるのではないのでしょうか。

\* 若年層の獲得について：

町会でも同じように若年層の獲得というのが課題となっているが、いざ活動となると若年層には合わない活動（会食・イベント等の内容）になっている。

若年層の趣味・レクリエーション等を理解し取り入れた活動をすることも必要。

又、金銭面でのサポート（会費の減免等）も考慮する必要があるのではとR Iの手引きに記載してありました。

\* ブランドがブランドであるためには：

昔はロータリーはブランドであった。

ブランドは私たち自身が築きあげていかなければならないが、入りたくても入れない位のそんな昔のロータリーのような方になった方が良いのかも知れない。

その為に、今迄述べたような事を見直していかなければならないのではないかと考えます。

量と質という面では当然質を重んじるべきであり、厳しい選考委員会を通した会員増強であるべき。

ロータリアンはある意味エリートである。

エリートとは社会の中で優秀な能力や影響力を持つ人間や集団と言う事ですが、もともとは地位や階級ではなく、「自分の利害得失と関係なく他人や物事の為に尽くせる人」を意味するといわれています。

まさにロータリーの精神に繋がるものだと思います。

これから入ってくるであろう新しい仲間も同じ価値観を共有できる、そういう形で会員増強が出来れば良いと思っています。

\* 最後に、私が出席委員長をやめた途端に出席100%が実現できたように、この委員長をやめた途端に会員が増えるかも知れません。